南小だより

文責　学校長　櫻井

教師主導で行ってきた活動が、子どもたちに身に付いて、地力となって育ってくれることを願っています。

「理科研究」最優秀賞獲得

生澤教務の指導の下、五年生が取り組んできた理科研究。岩舟地区代表として参加した下都賀地区大会で最優秀となり、県内七校しか参加できない中央発表会へ進み、県でも最優秀賞を獲得するというすばらしい成果を上げました。

先月の学校だよりでも取り上げましたが、日々の積み重ねが少しずつ成果として現れてきています。

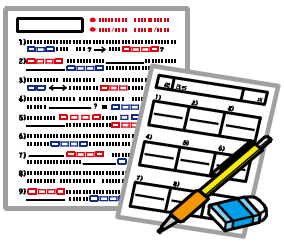
先日開かれた学校評価委員会の席でも、学校評議員さんの方々から「地域における子どもたちの挨拶が良くなって気持ちがいい」「学校がきれいになった」「子どもたちが落ち着いて学習に取り組めている」と、口々にお褒めの言葉をいただきました。

「挨拶もできない」とお叱りの電話を受けたこともありましたが、教職員が一丸となって子どもたちと向かい合ってきた成果でもあると思います。

学力テスト 2/3

春に行われる全国学力テストやとちぎっ子学習状況調査とは別に、本校独自で参加している全学年対象の学力テスト。いつもの校内テストと違って、出題範囲が広かったり、組み合わせて考えないと解答できなかったりと、高度な内容に戸惑いも見られたようです。

少人数で細やかな指導が可能な一方、受け身の学習姿勢や序列の固定化が起こりがちな小規模校。全国規模のデータと比較検討することで、伸びているところとこれからつけなければならない力を明確にして、明日からの授業に生かしていきたいと考えています。



前述のように、少しずつ力はついてきたとは言うものの、全国比ではまだまだ努力が必要なのが現状です。

中学校に進学して順位が出てから慌てるのではなく、今から少しずつ取り組ませたいと思います。

一日入学 2/4

この春入学予定のお子さんを迎えて一日入学を行いました。

運動会、就学時健診に続いて三度目の来校で、だいぶ慣れてきたようです。

十三名の入学予定者。顔合わせをした在校生も、かわいい弟・妹の入学を心待ちにしているようです。

保護者の方々には、保育所や幼稚園と違う学校の働きを知っていただくこと、入学前の物心両面の準備をお願いしました。







縄跳び大会 2/12

持久跳びや技術跳び、あじさいっ子グループでの長縄跳びを競い合いました。

二人の児童が参加できませんでしたが、十七名の児童が五分間の持久跳びを達成。

技術跳びでは二重跳びから後ろハヤブサまで、それぞれの力に合わせていろいろな技に挑戦していました。

あじさいっ子グループでの長縄跳びは、もうすぐ卒業を迎える六年生にとっても、思い出に残るものとなったことと思います。

子どもたちには、持久跳びを基本にして一定のリズムで跳び続けられる体力をつける一方、一段階上の技を身につけられるようチャレンジすることを促しています。





校長のつぶやき

敬師冥利(三十年ぶりの再会)

昨年末、栃木市小学校長会有志のバス旅行に参加した。車内に掲示された運転手のネームプレートに見覚えのある名前が書かれていた。サービスエリアでのトイレ休憩で、他の校長さんと話す姿にもどこか面影がある。

件(くだん)の校長さんに尋ねてみると前任校での保護者だという。やはり教え子だった。教職について間もない頃、中学年で受け持った子だった。

次の休憩地で声をかけると、参加者名簿を見てもしやと思っていたらしい。三十年の歳月で私の容姿はだいぶ変化しており、声をかけるのをためらっていたようだ。

短い休憩のたびに話をすると、自分の子が母校に通い、健康面への配慮で学校に大変世話になったことや卒業時に撮った私との写真を今でも持っていることなどを話してくれた。

我が子を気遣ってくれた校長に礼を述べる姿を見て、やんちゃだった教え子が歳月を経ていい父親になったなと感慨深いものがあった。

職業人としても、若いガイドさんと中堅の運転手さんのコンビは快適な旅を提供してくれた。

教員仲間のバス旅行。元担任の私は、自分の成果でもないのに彼の成長を誇らしく思えた。

日々、子どもたちと向き合う教育現場では、時として思うように育たない子どもたちの姿に、悩み苦しむことも多い。

教育は息の長い営みだ。

子の成長を喜ぶ親御さん同様、成長した教え子の姿を見るのは教師冥利に尽きる。

来月は卒業式。

彼らの人生に関わった大人の一人として、彼らが幸せな道を歩んでほしいと願ってやまない。

